



今号は医療支援担当 病院長補佐に寄稿いただきました。

病院長補佐(医療支援担当)を拝命しております医療技術部の中尾です。私も先生方と同様、趣味・特技はありませんが、今まで努力したことは何かを思い返しましたところ、「ダイエット」であると思いましたので書かせていただきます。

他大学から赴任しました際に、当時の上司から病院が全面禁煙になるので禁煙するよう勧められ、苦しみながらも禁煙できたのですが体重がどんどん増えてしまいました。太っていることを「いじられキャラ」と肯定的に捉え、全く苦にはしていなかったのですが、ある日健診結果をみて愕然とし、ダイエットを決意しました。当時流行り始めていた「糖質制限」として、①昼・夜は炭水化物を抜く、②お菓子・アイスは食べない、③夜9時以降は食べない、これを実践し、体重が10キロ減ったところでジョギングも始めました。夜中のスナック菓子とアイスが大好物の私は②が厳しかったのですが、8ヶ月で25キロの減量に成功しました。この減量のおかげで徳島マラソンも4回完走することができましたが、急に減らし過ぎたのか、平熱が35℃前半まで下がって風邪をひきやすくなるなどの後遺症(?)が残りました。しかし・・・！仕事が忙しくなり運動が減り、外食の機会も多くなって2年をかけてリバウンドし、元の体重に戻ってしまいました。今年の正月からダイエット再チャレンジを試みています。今回は教訓を生かし、「ゆるやかな糖質制限」ということで、①3食とも炭水化物を減らす、②自宅では生野菜をたくさん食べる、③間食はナッツ・チーズ・ハイカカオチョコのみ、④1ヶ月に減らすのは1キロ以内、これを決めて現在、5か月で9キロ減ですが、健康管理のために続けます。現在は特別診療体制の中ですが、皆様方もご自身の体調管理に万全を期し、この難局を協力して乗り切ってまいりましょう。



自宅での夕食
ボルシチと生野菜



4回目の
徳島マラソン

医療支援担当 病院長補佐 中尾 隆之

今号は病院長に令和2年度病院として推進していく事業について寄稿いただきました。

令和2年度を迎えました。昨今の新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対応におきましては、皆様に多大なご協力を頂いており感謝しています。大学病院本来の高度専門診療と先端的医療の開発・推進機能を維持しつつ、県民に求められるCOVID-19診療が行えるように運営してまいりますのでご支援をお願いします。

本年度、大学病院が展開する医療の質向上に向けた幾つかの事業につきご紹介します。

1. 総合臨床研究センター：4月から従来の臨床治験センターが総合臨床研究センターとして活動を開始しました。従来の治験や臨床研究の支援機能に加え、管理部門の充実や大学URAと連携したシーズ開発を進める体制の基盤ができました。今後、当センターから世界に誇れる革新的な成果が生まれることを願っています。
2. 看護師特定行為研修センター：本年5月に開講します。近年高度化する医療の現場では、高度で専門的な知識と技能を有する看護師の養成が求められています。本センターの目的は、特定行為と言われる手順書に沿った高度な医療行為を実践できる看護師を育成することです。本センターで研修された看護師が、今後の安全な高度医療の担い手として、またチーム医療のキーパーソンとして活躍することを願っています。同時に、県内医療の現場がより良く改善することも期待しています。
3. 周術期管理センター：本センターでは術中の安全管理とインシデント発生予防として全酔下マウスプロテクタの作成と手術時着用を推進しています。本院の医科歯科連携の強みを生かして作成紹介と作成数の増加を計画しています。従来の口腔管理センターの働きに加えた、一つ質を上げた周術期医療を提供します。

その他に、働き方改革に向けた医師・歯科医師の時間外労働ガイドの作成、総合アレルギーセンターの設立、細胞調整室の整備、DPCベンチマークを用いた経営戦略の強化などを通じて、働く場の環境整備や診療と運営の発展に寄与できるように努めますので、宜しくお願いいたします。

徳島大学病院長 香美祥二

NEWS・イベント大募集！

「Harmony」は、病院職員を対象に、院内情報の伝達や職員のコミュニケーションの活性化などを目的として発行しております。行事やイベントなどのNEWSや院内で周知してほしいTOPICSなどがありましたら、どんどん病院総務課広報・企画係(bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp)までお寄せください。また、「Harmony」で取り上げたら良いと思うテーマなど、ご意見・ご提案もお待ちしています。



病院新採用職員の紹介

整形外科

浜田 大輔 准教授



整形外科の浜田大輔です。病院、寄附講座、留学と所属を変えながら大学に勤務していましたが、このたび令和2年4月1日より整形外科の准教授を拝命しました。関節疾患、特に膝関節を専門としており、一般的な人工関節置換術や、骨切り手術などの関節温存手術に加え、従来は手術時に切離されていた靱帯を温存する特殊な人工関節やロボット支援手術といった先進医療にも取り組んでいます。大学病院では型どおりの治療を行うだけでなく、現状より一歩進んだ治療を提供することが必要と考えています。クリニカルアナトミー教育研究センターでの基礎研究、蓄積された症例の詳細なデータを解析した臨床研究などから科学的に課題を解決し、よりよい治療につなげる取り組みを多くのスタッフに助けられながら続けています。まだまだ至らない点もありますが、引き続きよろしくお願いいたします。

放射線科

庄野 なほみ 医員



今年度より放射線科に入局いたしました、庄野なほみと申します。徳島大学を卒業後は、徳島赤十字病院で2年間の初期臨床研修を経て、放射線科に後期研修医として入局しました。初期研修の2年間で当直業務などを経験するうちに、自分で画像を読むことの重要性や、患者本人や主治医が気付かないような病態が画像からわかる面白さに魅せられたのが入局のきっかけです。また、放射線科は放射線治療やIVRなど、画像以外の部分でも他科と協力して治療を行う分野で、病気の病態や治療法など、学ぶことが多くあり、やりがいもあります。

まだまだ勉強中で至らない点ばかりですが、これから少しでも早く一人前の医師として成長できるよう精進してまいりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

薬剤部

辻中 海斗 薬剤師



2020年4月より徳島大学病院薬剤部に入職しました、辻中海斗と申します。

私は、2020年3月で兵庫県立尼崎総合医療センターでのレジデント課程を修了し、縁もゆかりもない徳島の地で働くこととなりました。前院では、ICU、CCUで病棟業務やICT/ASTとして抗菌薬の適正使用の推進を主に担当し、最後の数か月は現在流行中の新型コロナウイルスに対する対応などに力を注いできました。

当院では現在、調剤室での調剤業務を行っており、患者様へ安全に薬剤が行き届くよう日々業務にあたっています。これまで培ってきた知識や経験を、少しでも早く病棟で患者様のために発揮できればと思います。まだまだ未熟ではありますが、精一杯努めてまいりますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

手術部

松江 菜里 看護師



今年の4月から手術部に配属となりました、松江菜里と申します。私が手術部を志望した理由は、学生時代の4年間の実習を通じて、手術を受ける患者さんの苦痛を最小限にしたいと感じたからです。また、手術が安全・円滑に行われるよう専門的知識と技術を提供できるようにすることが、患者さんの異常の早期発見につながると考えたからです。手術部の看護師にとって、術後の合併症を予防することは大切な役割の一つです。そのために、様々なことに「気付く力」のある看護師になりたいと考えています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で大変なこともありますが、積極的な姿勢を忘れずに、日々の学びを大切にしていきたいです。「看護師1年目だからできない」と諦めるのではなく、「いまできること」を探し、自分の目指す看護師に一歩でも近づくことのできるよう、頑張ります。

経理調達課調達係

東 光暉 事務員



令和2年4月より徳島大学病院経理調達課調達係に採用になりました東光暉と申します。

調達係は物品費の執行計画及び経理に関することや物品及び役務の契約に関するなどを担当している係です。私は、ベッドメーカー数の集計や、ベッド等洗浄業務、事務当直業務、清掃具賃借料の伝票の起票などを行っています。また、最近は新型コロナウイルスの影響で急遽物品の購入が必要となる状況にあるので、病院職員の一人として新型コロナウイルスへの対応に微力を尽くしたいと考えております。

4月から働き始めて1ヶ月がたちましたが、まだまだ分からないことも多くあり、先輩方のご指導のもと1つ1つ仕事を覚え、成長できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。